

年

組

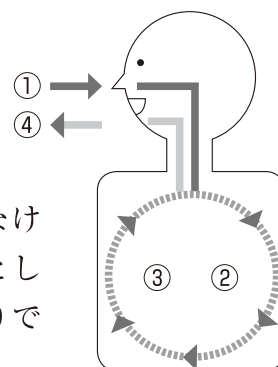
番

名前

教師用

1. 空気は人が生きていくのに、なぜなくてはならないものなのか、図を参考に（ ）にあてはまることばをいれて要点をまとめよう。

- ① 空気中の（ **酸素** ）を取り込む。
- ② （ **血液** ）によって①を全身に送る。
- ③ （ **栄養素** ）を燃やしてエネルギーにする。
- ④ ③の結果生じた（ **二酸化炭素** ）を体外に出す。



このようにして人間は生きている。そのため、空気がなければ、人間はすぐに死んでしまう。また、空気があったとしても、それが汚染されていれば、（ **病気** ）になるばかりではなく命を落とすことさえある。

2. 空気中の二酸化炭素や一酸化炭素は、増えすぎると私たちの体に悪影響を及ぼします。二酸化炭素や一酸化炭素はどういうときに増えるのか、また、それらが非常に増えると人の体はどうなるかまとめよう。

【二酸化炭素が増えるのはどんなとき？】

閉め切った部屋に大勢の人がいたり、ストーブが燃えていたりするとき。

【二酸化炭素濃度が非常に高くなると人の体はどうなる？】

呼吸数や心拍数が増える。頭痛がしたり気持ちが悪くなったりする。

【一酸化炭素が増えるのはどんなとき？】

木材、石炭、石油、ガソリンなど、炭素を含むものが不完全燃焼したとき。

【一酸化炭素濃度が非常に高くなると人の体はどうなる？】

頭痛やめまい、吐き気などを起こし、全身の細胞が酸素欠乏になる。死亡する。

3. 空気が汚れないようにするためには換気が不可欠です。（ ）にあてはまることばや数値をいれて、換気のポイントをまとめよう。

- ① 空気の出入り口を（ **2** ）か所設ける。
- ② こまめに（ **定期** ）的に換気する。
- ③ ときと場合によっては窓を（ **全開** ）にして一気に換気する。
- ④ 扇風機などの機器をつかって（ **自然** ）換気を補うのもよい。